

山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

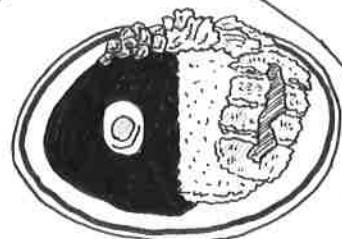
秩父市

地域おこし協力隊たより

六月号 No. 31



浦山ダム



浦山ダムカレー

はたおと秩父

5/3 銘仙レディズ

5月3日、番場町通りで行われた秩父屋台囃子20連太鼓に合わせて、秩父銘仙PRのために10人の女の子が集まってもらいました！

秩父市内の高校生さんや、都内からも何名か来て下さり、見頃の芝桜の丘や、秩父神社でチラシ配りをお願いしました。

普段着物を着る機会のない方々に少しでも秩父銘仙を乗んでもらえたらと企画したのですが当日は夏のように暑く、着物はつらいのではいかと心配しましたが、皆さん楽しんでいただけにようでお心しました。

私自身自分が着物を着る機会があっても、人が着ているとニろはなかなか見ないので、皆さんの素敵なお姿が見られてとても嬉しく思いました。また、秩父高校楽曲部の皆様にも秩父銘仙羽織を着て琴の演奏をお願いしました。妙見の森が華やかになり、とても素敵なお演奏でした。

ご協力いただいた皆様本当にありがとうございます！



織物修行 ラスト

約半年活動の合間合間を見て織っていた綿の縞の反物、や々と織り終わりました。途中たて糸が一本なくなったり、つないだ糸がいつの間にか切れていたり、あまりにも織るのが遅く周りにご迷惑をおかけしたりと色々ありましたが、織り終わることができて良かったです。できた反物は整理工場に出して中と長さをまれいにそろえてもらいます。現在秩父には整理工場はなく、米沢でお願いしているそうです。



お問い合わせ

秩父市役所 商工課
地域おこし協力隊 佐俣 菜津子

電話：049412515208

メール：SYOKO@city.fuji.lg.jp

Facebookにて活動報告をしています!!

ケアホーム訪問

4月30日、市内の福祉施設へ柗本のおばあちゃんと行き、そばまんじゅう作りの講師をしてきました。施設入居者の中には、手や腕が不自由な方もいらっしゃいましたが、皆さん思い思いにおまんじゅうを握っていました。また、おまんじゅうを作ったことのある方もいて、とても懐かしそうでした。できたおまんじゅうは3時のおやつに皆で頂きました。

皆さんとても楽しそうだったので、今後もう一回いった活動をしたいです。

お茶摘み

5月19日から3日間、強石にてお茶摘みを手伝いました。お茶摘みは3回目ですが、畑一杯に広がる新茶の香りは毎年嗅いでも飽きるこののなり、本当に良い香りで、年に一度、この時期だけの楽しみとなりました。

お茶づくり

現在、製茶作業は農協などの製茶工場にて行うことが殆どですが、昔は庭先などで、全て手作業で行っていたと聞きました。そこで私は製茶作業を体験してみようと思い立ち、5月24日、柗本にてお茶摘みをし、そして製茶作業を行いました！

初めての経験だったので、予定よりも時間がかかってしまいました。ただ、深緑色の乾燥した茶葉を作ることができました。製茶作業は時間もかかり、骨を折る作業です。しかし、出来上がった茶葉でお茶を淹れた時の感動はひとしかでした。お茶を手作りすることの苦労や喜びも他の方にも経験してもらいたいと思いました。

秩父市地域おこし協力隊

大滝地域担当：吉本隆久

TEL: 0494-55-0862

e-mail: a92116@city.chichibu.lg.jp

Facebookページ
「いいね!」お願いします。



秩父歳時記 6月

茅ちの輪くぐり

作法

秩父はお祭の多い町!! その一部をご紹介します。

大祓 (おおはらえ)

大祓とは、毎年6月と12月の末日に行われてきた行事で、全国の神社で執り行われており、日々の暮らしの中で知らずに犯してしまっただけの穢れを払い除く、というものです。6月30日の「水無月の大祓」は別名「夏越(なごし)の祓」とも呼ばれ、悪病猖獗(しやうけつ)を極める夏を迎えるに当って、先祖たちの考え出した生活の知恵と言われています。

秩父では秩父神社、三峯神社、秩父今宮神社、棟神社などで行われています。暑い夏を乗り切るために、参拝されてはいかがでしょうか。

茅の輪 (茅草で作られた大きな輪)

は、夏越の祓に使用され、それをくぐることにより、疫病や罪穢が祓われるといわれています。くぐり方は「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命の」というナリ」という古歌を唱えつつ、左まわり・右まわり、左まわりと、ハの字を書くように三度くぐり抜けます。そうすることで

心身ともに清らかに
なり、あとの半年を

新たな気持ちで

迎えることがで

きるそうです。

① 茅の輪くぐりを行って
いない神社もあります。

